

## 目的とねらい

東アジアに位置する日本と中国、韓国は長い文化交流の歴史を持っています。それらの文化芸術は、各国地域の伝統的特徴を持ちながら発展し、近代にいたっては西欧的モダンの要素も加えながら輝きを放っています。

この講座では東アジアの演劇、映画、芸能、音楽、言語文学、服飾文化などをアラルト的に組み合わせながら紹介していきます。

会場

河原町学舎

定員

50名

受講料

10,000円

責任講師

斎藤 敏康（立命館大学名誉教授）

日程

全8回 第1水曜日（5月は第2水曜日、9月は第1火曜日）  
13:30～15:30



（日程等は一部変更になる場合があります）

①	歌舞伎と京劇 シリーズ① こう扮する・演じる 京劇における中国の有名人 藤野 真子（関西学院大学教授）	4/5（水）
②	古代の民族の中で蘇る漢字 —倭人の源流「西双版纳」（シーサンパンナ）を訪ねて— 張 莉（大阪教育大学准教授）	5/10（水）
③	馬頭琴を奏で、内モンゴルと日本を語る（仮題） ミンガド・ボラグ（関西学院大学講師）	6/7（水）
④	歌舞伎と京劇 シリーズ② 歌舞伎について（仮題） 早瀬 栄之丞（前進座俳優、23年新春公演「雨上がる」主役三沢伊兵衛を演じる）	7/5（水）
⑤	シリーズ・アジアのニューシネマ① 台湾映画の中の日本家屋—1980年代のニューシネマが見出した日本家屋— 阿部 範之（同志社大学教授）	9/5（火）
⑥	シリーズ・アジアのニューシネマ② 韓国映画から見る映画と国家（仮題） 張 恵英（チャン ハヨン）（立命館大学言語教育センター嘱託講師）	10/4（水）
⑦	シリーズ・アジアのニューシネマ③ ニューウェイヴを遠く離れて—1980年代中国映画といま— 好並 晶（近畿大学教授）	11/1（水）
⑧	谷崎潤一郎と芥川龍之介の中国訪問 —「支那趣味」と「文化変容」の時代— 工藤 貴正（愛知県立大学名誉教授）	12/6（水）